掲示板

皆さんの頁です。研究助成金・補助金・賞などの候補者公募，不用品の贈呈・交換・求文献などにご利用下さい。

この欄への掲載については，日本化学会ホームページ http://www.chemistry.or.jp/news/keijiban.html をご参照下さい。

2018 年度仁科記念賞候補者推薦依頼

受賞対象：広い意味の原子物理学およびその応用に関し，優れた研究業績をあげた比較的若い研究者を表彰受賞者には，賞状，賞牌および副賞（50 万円 /1 件）を贈呈。詳細は仁科記念財団 HP（http://www.nishina-mf.or.jp）を参照のこと。推薦方法：次の書類を E-mail または郵送（E-mail が望ましい）にて送付のこと（郵送の場合は 1 部）。書類の形式：電子ファイル（Microsoft Office Word（拡張子 .doc）または pdf ファイル）が望ましい（なお，古い論文など pdf ファイル化が難しい場合には印刷物のコピーも可（1 部））。E-mail アドレスは nkz@nishina-mf.or.jp　仁科記念賞推薦票：A4 判 1 枚（様式自由，本財団 HP からのダウンロードも可），候補者の氏名（ふりがな・英文表記を付する）・年齢・所属・職・連絡先（勤務先電話・E-mail アドレス等），業績の題目（和文および英文），業績の要旨（10〜20 行程度），推薦者の氏名（ふりがな）・所属・職・連絡先（自宅または勤務先の所在地・電話・FAX・E-mail アドレス），候補者と推薦者との関係を記載，推薦理由書：A4 判・2〜3 枚程度，参考となる論文のリストを含む。共同研究の場合は，各候補者の役割分担を記載，略歴（推薦者がわかる範囲にて可），特に対象となる業績の論文（5 編以内）。推薦期限：2018 年 8 月 31 日（金）　書類送付先：公益財団法人仁科記念財団 113-8941 東京都文京区本駒込 2-28-45　電話（03）3942-1718

公益財団法人 光科学技術研究振興財団 平成 30 年度晝馬輝夫光科学賞・研究助成の募集

晝馬輝夫光科学賞　対象者：日本の光科学の基礎研究や光科学技術の発展に貢献する研究において，独自に独創的な研究業績を挙げた研究者個人。（応募締切時点で 45 歳未満の方）外国籍の場合は，日本の大学等公的機関に 5 年以上在籍し，その間に対象となる研究成果の中核を形成された方。学識経験者の推薦書によるものとする。副賞：500 万円。応募締切：平成 30 年 6 月 29 日（金）必着。研究に対する助成　対象課題：第 1 課題：光科学の未知領域の研究―とくに光の本質について，第 2 課題：細胞間あるいは分子間の情報伝達についての研究。助成金総額：約 5,000 万円。応募締切：平成 30 年 7 月 13 日（金）必着　連絡先公益財団法人光科学技術研究振興財団事務局長　袴田敏一　430-0926 静岡県浜松市中区砂山町 325-6 日本生命浜松駅前ビル 4 階　電話（053）454-0598　FAX（053）454-1929 E-mail: info@refost-cs.or.jp　http://www.refost-hq.jp

キヤノン財団第 10 回（2018 年）研究助成の募集

一般財団法人キヤノン財団第 10 回（2018 年）研究助成の募集。研究助成プログラム「産業基盤の創生」日本の強い産業を更に強化する，あるいは新たな産業を興すことによって経済発展を促すような科学技術分野にあって，独創的，先駆的，萌芽的な研究を対象とします。分野としては，将来社会において重要になることが想定される ICT・エレクトロニクス・ロボティクス，健康・医療・生命科学，バイオテクノロジー，環境・資源・エネルギー，材料・デバイス・プロセス，サービスサイエンスです。助成申請額：1 件あたりの助成申請総額 2,000 万円を上限として，全体で 10 数件程度を予定しています。助成期間：1 年間または 2 年間，2．研究助成プログラム「理想の追求」大きなイノベーションを起こすことが期待できる，先駆的で独創性のある研究プロジェクトを募集します。2018 年度の研究課題は「食に関する研究」です。本プログラムではこれらを科学技術の力で解決するため，従来比較的小規模で行われていた個別研究ではなく，大きな視点に立った分野融合的で，かつ有意義なゴールを設定した挑戦的な研究テーマを募集します。助成申請額：1 件あたりの助成申請総額 3,000 万円を上限として，全体で数件程度を予定しています。助成期間：原則 3 年間。募集期間「産業基盤の創生」：2018 年 6 月 1 日（金）10 時〜29 日（金）15 時「理想の追求」：2018 年 6 月 1 日（金）10 時〜7 月 13 日（金）15 時。

Chemist Award BCA 2018 & Lecture ship Award MBLA 2018 の募集

対象分野：有機合成化学およびその関連分野。応募資格：（1）国内の大学またはこれに準ずる研究機関において研究活動に従事し，2018 年 4 月 1 日の時点で満 40 歳未満の研究者，（2）国籍は問わないが，日本国内の大学または研究機関で実施された研究を対象とする，（3）他者の推薦のある者，（4）各賞（BCA・学会賞・奨励賞・進歩賞）の受賞経歴は問わない。表彰：「Chemist Award BCA」（1）記念品（盾）の授与，（2）財団 HP，関連専門誌等での発表「Lectureship Award MBLA」（1）万有シンポジウム（札幌，仙台，福岡のいずれか）での研究内容の発表および表彰式，（2）海外の著名大学および研究機関における講演（旅費支給），（3）財団 HP，関連専門誌等での発表。選考方法：選考委員会による選考を行う。「Chemist Award BCA」（数名）：2018 年 10 月頃決定予定，「Lectureship Award MBLA」（1 名）：2019 年 2 月頃決定予定。応募方法：HP からご応募。応募締切：2018 年 8 月 15 日（水）。応募・問合先：102-8667 東京都千代田区九段北 1-13-12 北の丸スクエア（公財）MSD 生命科学財団「BCA/MBLA」事務局　電話（03）6272-1098　http://www.msd-life-science-foundation.or.jp/research/bca/bca_entry.html

日本石鹸洗剤工業会 平成 31 年度グリセリン新規用途開発研究助成の募集

日本石鹸洗剤工業会では平成 31 年度グリセリン新規用途開発研究助成の募集をします。詳細は下記 HP 参照。助成額：1 件 50 万円で 2 件上限。対象研究：グリセリンの新規用途開発研究・グリセリンを出発原料とした有用化学製品の開発研究・その他需要拡大につながる研究。対象者：大学，高専，公的研究機関に所属する研究者。応募方法：応募用紙は下記当工業会 HP で 6 月半ばよりダウンロード可。必要事項を記載の上，平成 30 年 8 月 31 日（金）までに事務局まで郵送下さい。選考方法：選考は日本油化学会に委託し当工業会理事会で決定。選考結果は平成 31 年 1 月末までに通知。連絡先：103-0027 東京都中央区日本橋 3-13-11　日本石鹸洗剤工業会　電話（03）3271-4301　http://www.jsda.org/　グリセリンは，脂肪酸や石けんの製造過程で副生し，また近年は天然油脂を原料とするバイオディーゼル燃料の生産過程での副生という新しい発生源も加わっています。当工業会はグリセリンの新規用途開発の研究の奨励，援助を行い，もって有用なグリセリンの需要拡大，有効利用に寄与することを期待しています。